

《事故情報》

マンション建設現場でガス爆発事故

(一社)大阪府高圧ガス安全協会
事務局

令和8年3月18日午前、名古屋市のマンションの建設現場でガスボンベが爆発し、1人がけがをするという事故が発生しました。

60代の男性作業員が煙を吸って病院へ搬送されたという事です。症状は軽く、意識はあるとの事です。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

1. 事故概要

- (1) 発生日時：令和8年3月18日（水）午前8時20分頃
- (2) 発生場所：名古屋市東区のマンション建設現場
- (3) 作業状況：溶接、溶断作業でアセチレンガスボンベを使用
- (4) 物的被害：物損は不明
- (5) 人的被害：1人がけが
- (6) 推定事故原因：ガスボンベが何らかの原因で破損し、漏れ出たガスに引火、爆発した模様

アセチレンガスは、極めて可燃性が高く、爆発や引火による事故が発生しているガスです。特に、酸素が存在しなくても高温・高圧・衝撃・静電気などで分解爆発を起こす場合があります。ガスボンベは、安全な取り扱いを徹底するとともに、ボンベを横倒しにするなど、誤った取扱いは絶対に行わないようにして下さい。また、日頃よりガスボンベの適切な管理、点検（漏洩チェック等）、保管を徹底する必要があります。

2. 報道記事（添付します：出典：Yahoo!ニュース・FNNプライムオンライン）

- (1) インターネット情報
「アセチレンガス爆発」で検索すると出てきます。

以上

「揺れたので地震かと」マンション建設現場で爆発 60代男性作業員けが ガスボンベ破損でガス漏れ引火か 名古屋市

3/18(水) 12:21 配信 1



FNNプライムオンライン

18日午前、名古屋市のマンションの建設現場でガスボンベが爆発し、1人がけがをしました。

警察と消防によりますと、18日午前8時20分ごろ、名古屋市東区のマンションの建設現場で「爆発音がした」と通行人などから119番通報が相次ぎました。



溶接などで使われる可燃性ガスの「アセチレン」のガスボンベが爆発したとみられ、60代の男性作業員が煙を吸って病院へ搬送されました。

FNNプライムオンライン

目撃した人は「音がした瞬間にバーンって揺れたので、最初『地震かな』と思った」と話しました。

ガスボンベが何らかの原因で破損し、漏れ出たガスに引火した可能性があるということで、警察と消防が詳しい原因を調べています。

東海テレビ